

## 自立支援協議会実務者会の進捗状況について

## 1. 今年度の取組内容

- ・近年、自立支援協議会専門部会では、単年度で課題解決を行うことを目標としていたが、課題が解決しきれず、プロジェクトとして現在も会議体を変えて継続しているものや、基幹相談支援センターが事務局として継続的に事業を続けていることがあり、全体的に部会やプロジェクトなどが増加している。
- ・また、専門部会のテーマを選定する際に単年度で終わることが難しいものは、選定の候補から外している現状や専門部会の成果に対する評価機能がないなど課題が現れている。
- ・このことから、今年度の実務者会では、専門部会のあり方も含め「自立支援協議会のシステムの見直し検討への取組」を実施している。

## 2. 実務者会開催経過（予定）と協議内容

	日時	場所	協議内容
第1回	令和2年 9月30日	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会についてこれまでの振り返りと今後について検討する。</li> <li>→「人材・構成員」「地域課題を抽出するシステム」「評価システム」「単年度」などで課題があることがあげられる。</li> <li>・『芦屋市障がい福祉の課題を解決する仕組みの案』を考える。</li> <li>→「PDCA サイクルを意識した運営」「評価機能の設置」「専門部会の複数設置」などの解決案が出る。</li> </ul>
第2回	令和2年 11月16日	芦屋市保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回抽出されたシステムの課題の具体的なイメージを全体で共有する。</li> <li>・『芦屋市障がい福祉の課題を解決する仕組みの案（対策、手段）』を具体化する。</li> <li>→「実務者会に地域課題があたりやすいシステムづくり（目安箱など）」「複数の専門部会」「Webの活用での透明性（公開・レビューなど）」などの解決案が出る。</li> </ul>
第3回	令和3年 1月25日	芦屋市保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解決案の共有</li> <li>・システム案の検討</li> </ul>
第4回	令和3年 3月	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム案の共有</li> <li>・システム案の承認</li> </ul>

### 3. 第2回実務者会終了時点での進捗状況

	内容・意見等
自立支援協議会のシステムの見直し検討への取り組み	<p>・現在の自立支援協議会（実務者会・専門部会）の課題として、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①人材・構成員が固定化している</li><li>②地域課題を抽出するシステムが確立されていない（少ない）</li><li>③評価システムがない</li><li>④専門部会が単年度である</li></ul> <p>などがあげられる。</p> <p>・そのうえで、解決策として、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1) 実務者会に地域課題があがりやすいシステムづくり（目安箱など）</li><li>2) 複数の専門部会</li><li>3) Web の活用での透明性（公開・レビューなど）</li></ul> <p>などがあげられる。</p> <p>・今後、人材、構成員や実務者会の役割、評価機能方法などを検討し、システム案を構築していく予定。</p>